

GAAP準拠に調整した指標

ゼネラル・エレクトリック・カンパニーおよび連結子会社

GAAP基準で要求されていない連結財務諸表情報を財務諸表に掲載する場合があります。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。特に掲載するのは下記の情報です。

- 2005年通期（12月31日までの12カ月）の内部成長による売上増（2004年通期との比較）
- 2005年通期（12月31日までの12カ月）のインダストリアル事業の営業活動によるキャッシュフローの増加（2004年通期との比較）
- SFAS133号適用およびGeces社（現Genpact社）売却による影響を除外した利益の増加

これら非GAAP財務諸表を、最も直接関連するGAAP財務諸表へ反映させた調整。

- 継続事業からの売上、営業活動によるキャッシュフロー、継続事業からの利益、金融サービス事業の売上（下記）

| (単位：100万ドル) | 2005年通期（12月31日までの12カ月間） | | |
|--|-------------------------|-----------|--------|
| | 2005 | 2004 | 増減率(%) |
| 会計処理変更前の継続事業からの連結収入 | \$149,702 | \$134,481 | 11 |
| 事業の買収・売却・および為替による影響の控除 | 10,561 | 4,526 | |
| 2004年オリンピック放映による影響の控除 | - | 927 | |
| 2005年5月のSFAS133号適用による影響の控除 | - | 503 | |
| 事業の買収・売却（投資用に取得した事業の売却を除く）、為替、2004年オリンピック放映、2005年5月のSFAS133号適用による影響を除いた連結収入（内部成長による収入） | \$139,141 | \$128,525 | 8 |

| (単位：100万ドル) | 2005年通期（12月31日までの12カ月間） | | |
|---|-------------------------|----------|--------|
| | 2005 | 2004 | 増減率(%) |
| 会計処理変更前のGE単独の営業活動によるキャッシュフロー | \$21,609 | \$15,204 | 42 |
| GECSの配当を除く | 7,816 | 3,105 | |
| GECSの配当を除いたGE単独の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアル事業の営業活動によるキャッシュフロー） | \$13,793 | \$12,099 | 14 |

| (単位：100万ドル) | 第4四半期（12月31日までの3カ月間） | | |
|--|----------------------|---------|--------|
| | 2005 | 2004 | 増減率(%) |
| 会計処理変更前のGE単独の継続事業からの利益 | \$5,772 | \$5,718 | 1 |
| 2005年5月のSFAS133号適用による影響の控除 | - | 253 | |
| Genpact社売却による影響の除外 | 94 | 336 | |
| 2005年5月のSFAS133号適用およびGenpact社売却による影響を除いたGE単独の継続事業からの利益 | \$5,678 | \$5,129 | 11 |

| (単位：100万ドル) | 第4四半期（12月31日までの3カ月間） | | |
|---|----------------------|----------|--------|
| | 2005 | 2004 | 増減率(%) |
| 会計処理変更前の金融サービス事業の収入 | \$15,125 | \$15,121 | - |
| 2005年5月のSFAS133号適用による影響の控除 | - | 451 | |
| Genpact社売却による影響の除外 | 94 | 396 | |
| 2005年5月のSFAS133号適用およびGenpact社売却による影響を除いた金融サービス事業の売上 | \$15,031 | \$14,274 | 5 |

GEの財務実績の分析を有意義にするためには、業績の根底にある要素と、その要素が繰り返される可能性に対する私たちの判断を深く理解することが肝要であると確信しております。短期的なパターンや長期的なトレンドは、時として大きな要素や事象により、見えにくくなる場合があります。たとえば、あるセグメントでの事象やトレンドが非常に大きく変化することで、インダストリアル事業、あるいは金融サービス事業全体のパターンやトレンドを見えにくくしてしまう場合があります。そのため、買収、財産の売却、為替レートの影響を除外した、また2004年のオリンピック放映の影響を除外した、また2005年5月のSFAS133号適用による影響を除外した2005年の継続事業の売上高成長を提供することは投資家の皆様に資するものと考えています。同様に、2005年12月31日までの12カ月間の営業キャッシュフローと2004年12月31日までの12カ月間の営業キャッシュフローを期間によって差のあるGECS配当の影響を除外したかたちで比較することについても投資家の皆様の役に立つと考えます。さらに、2005年の継続事業からの利益と2004年の継続事業からの利益を2005年5月のSFAS133号適用による影響およびGenpact社売却の影響を除外したかたちで比較することも投資家の皆様に寄与するものと考えます。また、2005年12月31日までの3カ月間の金融サービス事業の売上と2004年12月31日までの3カ月間の金融サービス事業の売上を2005年5月のSFAS133号適用による影響およびGenpact社売却の影響を除外したかたちで比較することも投資家の皆様に資するものと考えています。